

令和6年度 園関係者評価委員会 資料

令和7年3月26日

幼保連携型認定こども園 沼館保育園

令和6年度 園関係者評価委員会 名簿

NO.	役職等	氏 名	出欠
1	評議員	大 嶋 秀 夫	○
2	評議員	佐 藤 憲 雄	×
3	評議員	宮 川 秀 雄	○
4	評議員	塩 田 田鶴子	×
5	評議員	橋 本 知加子	○
6	評議員	吉 田 寧	×
7	親の会会長	佐 藤 賢 浩	○
8	園長	高 橋 大 成	○
9	副園長	高 橋 八重子	○
10	主幹保育教諭	高 橋 和佳子	○
11	主幹保育教諭補	菊 池 則 子	○

令和6年度 園全体の自己点検・自己評価

幼保連携型認定こども園 沼館保育園

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

項目	内 容	評 価	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	B	・園の方針や願いに加え、園児の実態を考慮して重点目標を定めている。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	A	・自然豊かな地域の環境を十分に生かしている。
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	A	・五感を育てる保育が、現代社会や家庭の課題に込めている。
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	B	・前年の反省をふまえて、全体計画を見直している。
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	B	・全職員の意見をもとに重点目標を設定し共通理解している。
教育・保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	B	・実態をもとに各年齢ごとの指導計画が立てられている。
	(2) 教育・保育要領に基づく指導・支援を適切に行っているか。	B	・指導・支援の実態は教育・保育要領に基づいて行われている。
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	C	・年齢によって季節感を環境に取り入れきれていないクラスがある。
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	A	・子どもの遊びに必要な素材や用具を常に用意している。
	(5) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	B	・3歳未満の「流れる日課」が概ねできている。
	(6) 評価結果を基に保育の改善に努めているか。	B	・計画のねらいについて反省し、翌月の月間計画に生かしている。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	A	・保護者が参加できる行事がふえ、親の会の計画のもと、協力が得られている。
	(2) 行事のねらいを実施に生かしているか。	B	・行事のねらいを設定し、実施している。
	(3) 評価・改善の体制をとっているか。	B	・必ず反省をし、次回以降に生かしている。
	(4) 保護者の意見を取り入れているか。	B	・親の会役員会で意見を聞き、アンケートも行っている。

◎全体計画に対する自己評価

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

項目	内 容	評 価	意見・改善策
教育・保育について	(1) 園の特色を生かした教育・保育をしているか。	A	・自然との関わり、主体性を育てるなど、園の特色を生かした内容になっている。
	(2) 子どもの心と体の健康を支援しているか。	B	・看護師を配置し病児保育と子どもの健康管理を行っている。
	(3) 「食を営む力」の基礎を培う食育の計画・実施になっているか。	A	・畑で野菜を育て、収穫、クッキングなど多様に取り組んでいる。
	(4) 小学校との接続を意識した教育・保育の内容になっているか。	A	・小学校と連携してカリキュラムを作成した。
安全・衛生について	(1) 事故防止・事故対応は適切に出来ているか。	D	・ケガの見落とし事案が一件あり、課題があった。
	(2) 災害への対応について、備えは出来ているか。	B	・防災に関する訓練を計画的に行っている。
	(3) 施設内・外の環境は、衛生的に管理されていたか。	C	・感染症によるクラス閉鎖があった。さらに対策を検討していく。
子育て支援・研修について	(1) 保護者・地域の子育て家庭への支援は適切に行っているか。	C	・一日保育体験や面談など保護者への支援を行った。子育て支援ルームへの来訪者が少なかった。
	(2) 職員の研修は適切に行っているか。	B	・市の要請訪問や園内研修は充実していた。キャリアアップ研修も進んでいる。
目標達成について	(1) 自己評価を適切に行っているか。	B	・職員による自己評価をもとに園全体の評価を取りまとめている。年内の取りまとめを目指す。
	(2) 重点目標は達成できたか。	B	・各年齢において子どもの主体性と五感を育む教育・保育の実践がおおむね出来ていた。

評価者：園長 高橋大成 副園長 高橋八重子

主幹保育教諭 高橋和佳子 主幹保育教諭補 菊池則子

職員による自己評価から（成果）

令和6年度を振り返り評価できるところ	
個人の評価	1. 保育についての評価 ○子どもの発達や欲求に合わせた援助や声掛けが出来たと思う。 ・動線や目線に配慮した環境構成が出来た。 ○園児がのびのびと過ごし、成長も感じられた。 ・子どもの話をよく聞くように心がけた。 ・子どものささやかな成長を感じて喜ぶことが出来た。 ○子どもが困っていたら、その背景を探り、スキンシップをとるようにした。 ・子どもの心を傷つけたり、人権を損ねる関わりにならないように気を付けた。 ・子どもの心の動きに気を配って保育した。 ○今、何が育つ時かを考えて保育することが出来た。 ・絵本や手遊び、ふれあい遊びなどにより安心感を与えながら保育が出来た。 2. その他 ・身辺自立が著しい時期に、保護者と関係を密にして相談しながら進めることが出来た。 ・健康管理に関して保護者と連携して見守ることが出来た。 ○家庭と同じ気持ち、目線で成長を感じることが出来た。 ○子どもを信じて「待つ」という態度を同僚に教えられた。
クラス運営の評価	1. 保育についての評価 ・園の方針である「流れる日課」を自分なりに理解し実践できた。 ・安全で清潔感のある環境構成ができた。 ○好きな遊びを満足いくまで取り組んだことが、挑戦する気持ちにつながった。 ○園児同士で褒め合ったり、友達のいい所に気づいたりする態度が育っている。 2. その他 ・クラスだよりやドキュメンテーションでクラスの様子を伝えることが出来た。 ・共通理解が必要な子どもに関して、職員間でよく話し合った。 ○保護者から熱い思いを伝えてもらったことで共感しあい、やりがいを感じた。
園全体の評価	1. 保育についての評価 ・園内委員会を通して、課題のある子どもについての共通理解が図られていた。 ○「学びのあしあと」により、園児一人一人の様子を保護者に伝えられた。 ○病児保育事業を開始したことで、保護者への安心が高まった。 2. その他 ・見通しをもって事務作業を進められ、溜めることが少なくなった。 ・必要なことは園長や主幹と話し合っ進めることが出来た。 ○守秘義務や情報管理について、データをクラウド化するなど改善を図った。 ○複数担任間で話し合い、事務作業をノンコンタクトで進めている。

職員による自己評価から（課題）

令和6年度の課題と感じたところ	
個人の評価	1. 保育についての評価 ▲子どものケガの際にしっかり対応できないことがあり、反省すべきである。 ・園全体の計画等への理解が足りないところがあった。 ・日誌の書き方や計画の立て方に苦勞した。 ▲子どもの思いを代弁しすぎたように思う。もっと話を聞いてもよかった。 ・関わっているようで関わっていない園児がいたように思う。 ・全体を見ることが出来ず、目の前のことに精一杯だった。 ▲子どもに真似をしてほしくない言葉や態度をとってしまうところがあった。 ▲必要以上に声をかけたり手を貸してしまう場面があった 2. その他 ▲保育についての奥深さを感じ、学び直しが必要だと感じた。 ・課題のある家庭への対応方法について、勉強の必要性を感じた。 ▲他の先生の記録を読むことで、内面の読み取りをもっと深めたいと思った。 ・相手の気持ちを気にしすぎ、言いたいことが伝えられないことがある。
クラス運営の評価	1. 保育についての評価 ・自分の保育について足りていない部分を指摘されることがあった。 ▲発達にあった環境の構成が足りないところがあった。 ・園児の動線に合わせた環境構成に課題があったので、改善していきたい。 ・リーダーとして他の職員の同行にもっと気を配るべきだった。 ▲季節の変化について、環境を工夫していく必要がある。 2. その他 ・子どものことについてクラスを超えた情報共有があまりできなかった。
園全体の評価	1. 保育についての評価 ・子どもの状況についてクラスを超えて話し合う機会は少なかった。 ▲子どものケガについて、保護者に不安を与えてしまった。 ・子どもの体調不良を保護者に伝える難しさがあった。 ・「学びのあしあと」を作成する事務が増えた。 2. その他 ・遊具が古くなり、修理が必要な物があった。 ・安全や清潔さの面で課題を感じる部分があった。 ▲クラス閉鎖や休園があり、感染対策に課題を感じた。 ▲子どものケガなどで園長等への報告の不備があった。 ・少子化のせい子育支援ルームに来てくれる親子の数が減っている。

令和6年度 園関係者評価 記入票

評価者氏名 大 嶋 秀 夫

四季おりおりの自然と親しみながら
保育する姿勢はすばらしいと思います
少子化ですが職員の方々と保護者
との一体化をより進めて下さい。

総合評価 A

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

ご記入ありがとうございました。

令和6年度 園関係者評価 記入票

評価者氏名 佐藤 憲雄

評価委員会に出席できず"申し訳ありません"しました。

送付された資料を読ませていただきました。
職員の方々皆さんが掲げられた目標に向かい、真摯に取り組んでいることがわかりました。

また、適切な自己評価と職員同士互いに学び合っていることにも感心させられました。

最後の保護者アンケート結果に対する園長の所感にも好感を持ちました。

今後ますます少子化が進み大変なようか
職員の皆様が協力し合いより良い園運営
をお願いします。

総合評価 B

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

ご記入ありがとうございました。

令和6年度 園関係者評価 記入票

評価者氏名 評議員 三川秀雄

全体評価は、園側と保護者側と向上しており、
良好な園運営ができているのと感じられます。

特に、自然の中でのイベントや食育につながる
畑作物の栽培、収穫した野菜等を使ったクキ
ングなどは好評価をいただいております。今後も継
続していただきたいと思います。

なお、保護者の方々への説明不足という指摘
は以前からも見受けられているので、少しずつで
も改善していただきたいと思います。

総合評価

A

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

ご記入ありがとうございました。

令和6年度 園関係者評価 記入票

評価者氏名 塩田 田鶴子

とてもよく保育されてゐると感じました。

職員による自己評価のことを発表させていただき

・事務作業をノコニカウトで進めてゐること

・言葉の通じの悪い子どもについて共通理解を図ってゐること

この点についてがんばってゐることを感じました。

これも園全体のすばらしさだと思います。

また、事故はいつどこで起きるかわかりません

起こさないうようにすること。そして起きた時の対応も

大切だと思いますので、皆で考えていけるだけ

いばと思います。

総合評価 B

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

ご記入ありがとうございました。

令和6年度 園関係者評価 記入表

評価者氏名 橋本 知加子

園の扉を開けたら、子どもたちの元気で大きな歌声と先生の楽しいリズムのピアノが聞こえてきました。その様子に自然と笑顔にさせてくれるパワーを感じました。

園内の視察ではクラス毎の年齢による成長の違いと、クラス環境の工夫を見ることが出来、またどのクラスも一人一人がいきいきとのびのびと過ごしている様子は素晴らしく思いました。

また先生方の愛情にあふれた目配りや、子どもたちと一緒に楽しく遊んでいる姿には感動いたしました。

今回、園全体の自己評価、保護者アンケートのご説明をいただき、細部にわたりいろいろな対応がなされていることも理解できました。

少子化で大変とは思いますが、園と保護者と地域が一体となり、今後ますます発展されますことをお祈りいたします。

総合評価 A

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

ご記入ありがとうございました。

令和6年度 園関係者評価 記入票

評価者氏名

吉田 寧

園全体の自己点検・自己評価から、園長先生をはじめ諸先生方の園に対する取り組みに誠心誠意ご努力なされていることが感じられます。また、成果・課題においては、至らなかったことは真摯に受け止め反省し、より良い園を目指して次のステップに踏み出していらっしゃることに感銘を受けました。

これらのことから満足度調査において 100 パーセントの総合評価を頂いたことと思います。

今後とも園長先生をはじめ職員・保護者の皆様が一丸となって、子ども達が過ごしやすい環境の中で育んで行っていただきたいと思います。

総合評価

B

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

ご記入ありがとうございました。

令和6年度 園関係者評価 記入票

評価者氏名 佐藤 賢浩

「学びのあしあと」という新たな取り組みを実施され、先生方の負担が増す一方で、子供達の成長を見届けていたなき、大変感謝しています。

「学びのあしあと」からは、場面ごとのシーンが想像でき、小情景が目に浮かびます。

各イベントにおいては、保護者の方々へ先生方の協力も尽力いただき、根元ね大成功だったかと思っています。

今後の発表会では、保護者の意見を取り入れて下さり、発表フリスの優先順を設けていたいた事に重ねて感謝いたします。

点だけ、今後の為にも助けになればと思っていますが、今年度は悪天候の為、又涼み会の開催を断念はれ、次年度では、予算の関係もあるかと存じますが、悪天候の際は、コロシアム 体育館等での開催の検討もして下さるのとも思います。過去に行ったと伺いましたが、対策を取りつ、全イベントを開催できればと思います。

本当に色々とお迷惑をおかけしました。

ありがとうございました。

総合評価 A

A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する

ご記入ありがとうございました。

令和6年度 幼保連携型認定こども園 沼館保育園 保護者満足度調査結果

* 回答数…約75% (回答世帯数47世帯/全世帯数61世帯 令和7年3月21日現在)

* 子どもの年齢別回答数と回答率 (複数チェックの場合は年齢が高い方で有効回答にしています。)

0歳児 (令和5年4月2日以降生まれ) …4名/4世帯=100%

1歳児 (令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれ) …5名/8世帯≒63%

2歳児 (令和3年4月2日～令和4年4月1日生まれ) …2名/3世帯≒67%

3歳児 (令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ) …9名/10世帯=90%

4歳児 (平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ) …11名/15世帯≒74%

5歳児 (平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ) …16名/21世帯≒76%

A 幼保連携型認定こども園の基本方針について

1. 重要事項説明書において、こども園の使命や役割 (保育の内容、保育目標など) について説明がありましたか？

- ☐ 十分な説明があった…55%
- ☐ ある程度説明があった…45%
- ☐ あまり説明がなかった…0%
- ☐ まったく説明がなかった…0%

2. 入園当初に受けた説明に沿った内容で、日常の保育が行われていると思いますか？

- ☐ 十分に行われていると思う…55%
- ☐ ある程度行われていると思う…40%
- ☐ 行われていると思えない…2%
- ☐ 無回答…2%

3. 管理者 (園長、理事長等) がしっかりと職員をまとめ、率先して運営にあたっていると思いますか？

- ☐ 運営していると思う…53%
- ☐ ある程度運営していると思う…45%
- ☐ 運営していると思えない…2%

4. 幼保連携型認定こども園は、保護者や地域の人々の要望を取り入れ、意欲的に教育・保育の質の向上に努めていると感じますか？

- ☐ 十分に感じる…45%
- ☐ ある程度感じる…51%
- ☐ あまり感じない…4%

B 園児の発達と保育について

5. 幼保連携型認定こども園は、園児の発達に合わせた教育・保育をしていると思いますか？

- ☐ 十分にしていると思う…62%
- ☐ ある程度していると思う…38%
- ☐ していると思えない…0%

6. 園児の成長(食事・トイレ・衣類の脱ぎ着など)に合わせて保護者と幼保連携型認定こども園がお互いに協力しながら子育てに取り組んでいると思いますか？

- ☐ 十分に協力して取り組んでいると思う…68%
- ☐ ある程度協力して取り組んでいると思う…32%
- ☐ 協力して取り組んでいると思えない…0%

7. 職員によって、園児の発達についてのアドバイスが違うということがありましたか？

- ☐ まったくない…72%
- ☐ たまにある…23%
- ☐ よくある…4%

8. あなたはあなたの子どもの成長について満足していますか？

- ☐ 十分に満足している…79%
- ☐ ある程度満足している…21%
- ☐ あまり満足していない…0%

C 園児の健康・安全・衛生面について

9. 園児の健康状態についてどの職員も同じように把握し、適切に接してくれていますか？

- ☐ 適切に接してくれている…66%
- ☐ ある程度適切に接してくれている…30%
- ☐ 適切に接してくれない…2%
- ☐ 無回答…2%

10. 身体計測や内科・歯科検診の結果について、その都度分かりやすく伝えられていますか？

- ☐ 十分に伝えている…66%
- ☐ ある程度伝えている…32%
- ☐ 伝えられていない…2%

11. 園内で感染症が発症した場合、幼保連携型認定こども園からその状況や対応について連絡や説明を受けたことはありますか？

- ☐ 十分に説明を受けた…64%
- ☐ ある程度説明を受けた…34%
- ☐ 説明を受けていない…2%

12. 園児の事故や怪我の防止について幼保連携型認定こども園から説明を受けたことはありますか？

- ☐ 十分に説明を受けた…43%
- ☐ ある程度説明を受けた…49%
- ☐ 説明を受けていない…9%

13. 教育・保育中に地震や火災などの災害が起きた時の対応(避難方法や連絡方法)について、幼保連携型認定こども園から入園時の面談などで説明を受けたことはありますか？

- ☐ 十分に受けた…47%
- ☐ ある程度受けた…47%
- ☐ 説明を受けていない…6%

14. 不審者対策について、幼保連携型認定こども園から園だより等で具体的な対応策の説明を受けたことがありますか？

- ☐ 十分に受けた…47%
- ☐ ある程度受けた…47%
- ☐ 説明を受けていない…4%
- ☐ 無回答…2%

15. 虐待の防止に向けた取り組みについて、幼保連携型認定こども園から説明を受けたことはありますか？

- ☐ 十分に受けた…36%
- ☐ ある程度受けた…45%
- ☐ 説明を受けていない…17%
- ☐ 無回答…2%

16. 子どもや家庭の事について相談した内容が、他人に漏れていたという経験はありますか？

- ☐ ない…85%

- ☐ たまにある…15%
- ☐ しょっちゅうある…0%

D 食育について

17. 献立の展示、レシピの提示や試食会など、幼保連携型認定こども園の給食について詳しく知る機会がありますか？

- ☐ 十分にある…64%
- ☐ ある程度ある…23%
- ☐ 知る機会がない…11%
- ☐ 無回答…2%

18. メニューは「盛り付けがおいしそう」「栄養のバランスが良い」など、食事を楽しむ工夫がされていると思いますか？

- ☐ 良く工夫していると思う…57%
- ☐ ある程度工夫していると思う…40%
- ☐ 工夫していると思えない…2%

19. その日の子どもの体調に合わせ、食事の量や調理方法などに配慮がされていると思いますか？

- ☐ 良く配慮されていると思う…43%
- ☐ ある程度配慮されていると思う…45%
- ☐ あまり配慮されていない…13%

20. 幼保連携型認定こども園の食事における園児の好き嫌いや食事の様子などの説明がありますか？

- ☐ 十分に説明がある…40%
- ☐ ある程度説明がある…55%
- ☐ あまり説明がない…4%

21. 食物アレルギーを持つ園児に対して適切な配慮がされていると思いますか？

- ☐ 十分に適切な配慮がされていると思う…72%
- ☐ ある程度配慮されていると思う…28%
- ☐ あまり配慮されていない…0%

22. 子どもの会話などで、幼保連携型認定こども園での食事を楽しんでいると感じることがありますか？

- ☐ 良く感じる…70%
- ☐ たまに感じる…26%
- ☐ あまり感じない…4%

E 教育・保育の環境について

23. やってみたい、わくわくするなど園児の興味、関心に応じた環境になっていると思いますか？

- ☐ 興味・関心に応じた環境になっていると思う…62%
- ☐ ある程度興味・関心に応じた環境になっていると思う…38%
- ☐ 興味・関心に応じた環境になっていないと思えない…0%

24. 遊びが園児の学びにつながっていると感じますか？

- ☐ 学びにつながっていると感じる…79%
- ☐ まあまあ学びにつながっていると感じる…21%
- ☐ 学びにつながっていると感じない…0%

25. 地域の人々や小学校と交流ができるような行事や活動が積極的に行われていると思いますか？

- ☐ 十分に行われていると思う…53%
- ☐ ある程度行われていると思う…40%
- ☐ 行われていると思えない…6%

26. 園児が身近な自然と関われるように配慮されていると思いますか？

- ☐ 十分に配慮していると思う…87%
- ☐ ある程度配慮していると思う…13%
- ☐ 配慮していると思えない…0%

F 子育て支援について

27. 日頃の情報交換に加え、個別面談などで相談することはありますか？

- ☐ よく相談する…30%
- ☐ たまに相談する…62%
- ☐ あまり相談しない…8%

28. 個別面談や年2回行われている個人面談で、園児の発達や子育ての方法などについて、担任保育教諭と共通理解が得られていると思いますか？

- ☐ 十分に得られていると思う…68%
- ☐ ある程度得られていると思う…30パーセント
- ☐ 得られていると思わない…2%

29. やむをえない事情で送迎が遅れる場合、その都度柔軟に対応してくれていると思いますか？

- ☐ 十分に対応していると思う…77%
- ☐ まあまあ対応していると思う…23%
- ☐ 対応していると思わない…0%

G 幼保連携型認定こども園とのコミュニケーション

30. 幼保連携型認定こども園とのコミュニケーションはとれていると思いますか？

- ☐ とれていると思う…53%
- ☐ ある程度とれていると思う…47%
- ☐ とれていると思わない…0%

31. 園だよりやクラスだより、ドキュメンテーションは、園児の心の育ちや学びが分かりやすく伝わってくる内容ですか？

- ☐ 十分に伝わってくる内容である…70%
- ☐ ある程度伝わってくる内容である…30%
- ☐ あまり伝わってこない…0%

32. 「学びのあしあと」で園での園児の学びや友だちとの関わりの様子がわかるようになりましたか？

- ☐ 十分に伝わってくる内容である…68%
- ☐ ある程度伝わってくる内容である…30%
- ☐ あまり伝わってこない…0%
- ☐ 無回答…2%

33. 保護者の苦情や意見に対する幼保連携型認定こども園の説明や対応は、適切なものと思いますか？

- ☐ 適切であると思う…40%
- ☐ ある程度適切であると思う…55%
- ☐ 適切とは思えない…4%

34. 保護者の意見や要望を伝達する機会（苦情解決制度、面談、連絡帳など）があり、それに対して幼保連携型認定こども園が具体的な取り組みを行っていると思いますか？

- ☐ 行っていると思う…49%
- ☐ ある程度行っていると思う…43%
- ☐ 行っていると思えない…8%

35. 保育参観、一日保育体験等や行事など、保護者が幼保連携型認定こども園の教育・保育活動に参加できる機会が積極的に設けられていると思いますか？

- ☐ 設けられていると思う…64%

- ☐ ある程度設けられていると思う…30%
- ☐ 設けられていると思えない…6%

H 幼保連携型認定こども園の職員について

36. 職員の身だしなみや態度、言葉使いは好ましいと思いますか？

- ☐ 好ましいと思う…70%
- ☐ ある程度好ましいと思う…28%
- ☐ 好ましいと思わない…2%…

37. 職員による園児への言葉がけや関わりは適切だと思いますか？

- ☐ 適切だと思う…64%
- ☐ ある程度適切だと思う…34%
- ☐ 適切だと思わない…2%

38. 職員は、保護者に対して気配りができていると思いますか？

- ☐ できていると思う…55%
- ☐ ある程度できていると思う…40%
- ☐ できていると思わない…4%

39. 職員は、子育ての専門家として頼りになると思いますか？

- ☐ 頼りになると思う…68%
- ☐ ある程度頼りになる…28%
- ☐ 頼りになると思わない…4%

I 総合評価

40. 保護者の立場から、幼保連携型認定こども園の良いところをお答えください。(複数回答可)

- ☐ 職員の能力、人柄…55%
- ☐ 施設などの教育・保育環境…30%
- ☐ 保育の内容(日常の保育、行事など)…57%
- ☐ 様々なサービス(延長保育、情報提供、アレルギー対応など)…40%

41. 職員についての総合評価をお願いします。

- ☐ 十分に満足している…51%
- ☐ ある程度満足している…47%

☐ あまり満足していない…2%

42. 幼保連携型認定こども園についての総合評価をお願いします。

☐ 十分に満足している…47%

☐ ある程度満足している…53%…

☐ あまり満足していない…0%

自由記述欄…その他お気づきの点、意見・要望等がありましたらご記入ください。

(親の会役員会や第三者委員との協議により、意見・要望等がある保護者には氏名を記入して頂くこととなりました。ご協力の程宜しくお願い致します。)

氏名

【自由記述欄への記載】

◎1 歳児

- ・ B棟の床について、ズボンに木のトゲ？のようなものがついてくることがあります。活発に動くようになった子やはいはいする子が多い中で安全面に少し不安になることがありました。
- ・ 先生同士の報連相がされていないときがある。(情報共有?) 病院行くや行ったなど。

◎4 歳児

- ・ クッキングを増やしてほしいです。
- ・ 行事等で携行品の準備が必要な時は早く連絡してほしい。(行事についても(クッキング等) 早めに通知してほしい) 次月の予定が月末の為、対応が難しい。

◎5 歳児

・ 天候かまわず外遊びを沢山させてくれたことや、保呂羽山でのサマーキャンプ、スキー等、親がさせてあげられない様々な経験をさせていただき本当に感謝しています。雨の休日にカッパを着せて外遊びをしたり、泥水で思い切り遊ばせたことは家では一度もありませんでした。子どもの発達や楽しいという感覚等を優先しながら様々な理由ある遊びや取り組みをしていただいた園のおかげで、今の我が子があると思います。保呂羽山に行くことも、年長さんでスキーが滑れるようになることも、他の園の親子さんから羨ましがられます。親が意識しないと子どもの経験格差が広がる時代ですが、好奇心や子どものやる気がある未就学児のうちに楽しい経験を沢山させていただき、沼館保育園で良かったと心から思います。園庭での野菜作りのおかげだと思いますが、畑仕事に関心が強くお店で発見するなり種を持ってきて「これを育てたい!」と野菜作りをせがんでできます。また歩いて行ける距離に中央公園があるため大好きな中央公園で頻繁に遊べるところも良かったです。就学前に2回行ったスキー遠足や、卒園前のいちご狩り、少し離れている河川公園まで歩き、さつまいも遠足をしたり、濃い保育園生活だったことを振り返り、親として心から感謝しています。上の子を含め、長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。

・ 兄の時から10年以上、大変お世話になりました。ひよこ組に送っていた兄もあっという間に受験生です。(中略※) いつも話しやすい環境を作ってもらってなんでも聞けたし相談もできました。送り迎えをおじいちゃんがしてくれるので、保育園に行くことは少なくなりましたが、連絡帳を見るのが毎日楽しみでした。コロナが流行中もアレルギーの咳で受診して薬を飲んでいることを伝えたと理解して受け入れていただき、ありがたかったです。(中略※) 長い間、大変お世話になり、ありがとうございました。先生方もお体に気をつけて頑張ってください。

(※・・・個人名が入っている部分を省略しています。)

令和6年度 満足度調査の結果を受けて

幼保連携型認定こども園
沼館保育園長 高橋大成

今年も、お忙しいなか保護者満足度調査にご協力いただきまして誠に有難うございました。回答率は全体で75%ということで、もう少し回答いただけると良かったのですが、設問の多さも影響していることも考えられますので来年以降の課題としたいと思います。

回答結果において、総合評価では「十分に満足している」と「ある程度満足している」を合わせると100%となり、おおむね保護者の皆様に園の運営にご理解を頂いているものと受け止めます。今年度から取り組んだ『学びの足あと』について、その内容が「十分に伝わってくる」が68%と高い評価を頂きました。園だよりやドキュメンテーションとともに、今後も続けてまいりたいと思います。

しかしながら細かな項目、「園児の事故や怪我」や「虐待の防止」についての説明がされていないと受け止めている保護者が一定数いらっしゃること分かりました。実際に園児の怪我については見落とす事例が1件あり、職員の自己評価でも反省点に上げられました。今後の事故防止・事故対応には十分に注意を払い、取り組むべき内容と受け止めています。「虐待の防止」については、毎年、年度初めの職員研修で『子どもの人権擁護のためのチェックリスト』について学びを深めていますが、その成果について保護者の皆様にもっと知っていただかなければならないと感じるところです。

自由記述においては、施設の老朽化からくる安全面での指摘や、職員間の情報共有の課題などもありました。保護者への早めの連絡なども含めて今後の課題について職員間で出来る対応を考え、改善について検討していきたいと思います。

園への感謝を述べられた方もおられ、嬉しく思います。就学前の子ども達の大切な時期を過ごす園として、保護者の皆様と一緒に、今後も願いをもって子ども達を育てていきたいという思いを新たにしました。

これまでのご協力とご理解に感謝申し上げます。有難うございました。